

公益社団法人全日本広告連盟
令和3年度 事業報告書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

- I. 主な活動
- II. 組織状況
- III. 業務執行体制等

令和3年度事業報告

公益社団法人全日本広告連盟（全広連）は、事務局業務全般を正会員の中核である公益社団法人東京広告協会に委託し運営を進め、令和3年度事業活動を8ブロック会議において検討、理事会の承認を経て、全国37広告協会の支援・協力のもと全面的な公益事業の実施を見据えつつ、以下の事業活動を推進した。

I. 主な活動

1. 講座・シンポジウム・全国大会等（定款第4条第1項）

(1) 第32回（令和3年度）全広連夏期広告大学

第32回全広連夏期広告大学は、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、青森市（令和3年9月25日・青森広告協会）、新潟市（10月4日・新潟広告協会）、岡山市（11月15日・岡山広告協会）の3地区で開催地広告協会との共催により開催した。

令和3年度も、共催する各広告協会の意向を汲んだ講義内容を地区ごとに構築し、青森は「地域主義のすすめ ～このまちで生きる喜び～」、新潟は「プロスポーツを通じた地域振興」、岡山は「メディア／広告業のDXを考える」のテーマのもとでそれぞれ実施、各協会会員をはじめ一般、学生の会場参加者は3地区で述べ190名となった。また、そのコンテンツを開催地のみならずより広範に共有することを目的として、後日講義映像のオンライン配信を行い、3地区合計1769のインプレッション数を数えた。

(2) 第14回（令和3年度）全広連秋のシンポジウム

14回目を迎えた全広連秋のシンポジウムは、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、開催地広告協会との共催により令和3年11月30日・静岡市（静岡県広告協会）及び令和4年3月15日・京都市（京都広告協会）の2地区で開催した。

夏期広告大学と同様、開催地広告協会の意向を汲み、静岡では「SDGs／D&I 価値観をどうアップデートするか？ ～メディアや広告業界の役割～」、京都は「地域の広告コミュニケーションのこれから ―新時代にどう向き合うか―」をテーマとして、両地区とも講師によるパネルディスカッションなどを実施、各地域の協会会員をはじめ学生や一般から延べ380名の参加があった。また、両講義とも後日オンライン配信を行った。

(3) 第69回全日本広告連盟山陰大会

第69回全日本広告連盟山陰大会は、令和3年5月20日と21日の2日間、「ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～」の大会テーマで松江市の島根県民会館を主会場として開催した。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、事前のPCR検査受検等を参加

要件とするなど感染防止策を徹底したうえでの現地参加と、インターネット配信によるオンライン参加を併用したハイブリッド方式で実施、全国から一般も含め現地参加118名、オンライン参加521名、計639名の広告関係者が参加した。

大会プログラムは、まず島根県邑南町役場商工観光課長の寺本英仁氏と(株)ぐるなびプロモーション事業部食と観光企画部長の西原史郎氏による「地方創生＝地域資源を生かした「食」で町おこし」、東京藝術大学大学院教授・クリエイティブディレクターの佐藤雅彦氏とクリエイティブディレクター・CMプランナーの高崎卓馬氏による「クリエイティビティ＝新しい分り方、伝え方」、及び立教大学ビジネススクール教授の田中道昭氏による「DX＝地域メディア・広告業のDX戦略策定ワークショップ」の各テーマで分科会を実施。

昼食を挟み、午後からはオペラ歌手の錦織健氏によるアトラクションで大会式典を開始、真鍋和彦山陰大会副会長による開会宣言、松尾倫男山陰大会会長の歓迎挨拶、大平明全広連理事長の大会挨拶に続き、来賓の丸山達也島根県知事、平井伸治鳥取県知事からそれぞれ祝辞が述べられた。

次に、第9回全広連日本宣伝賞の受賞者として、松下賞の大塚製薬(株)代表取締役社長・井上眞氏、正力賞のカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)代表取締役社長兼CEO・増田宗昭氏、吉田賞の(公社)ACジャパン理事長、(公社)日本マーケティング協会会長、(公財)日本卓球協会会長、ライオン(株)特別顧問・藤重貞慶氏、山名賞の東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター・佐藤雅彦氏を表彰、各受賞者からはビデオメッセージにより謝辞が述べられた。

また、第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞を(株)新潟日報社に、同賞選考委員会特別賞を(株)山陰中央新報社に贈呈し、代表して(株)新潟日報社統合推進センター部長代理の畑川克久氏から受賞の言葉が述べられた。

引き続き、第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞最優秀賞を島根県に、同優秀賞をオリックス不動産(株)に贈呈し、代表して島根県知事の丸山達也氏から受賞の言葉が述べられた。

次いで、日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏、小西美術工藝社(株)代表取締役社長のデービッド・アトキンソン氏、及び(株)電通グループ電通ジャパンネットワーク執行役員の樋口景一氏のパネリスト3氏によるパネルディスカッション「持続可能な地域社会のカたち～いまこそ語りたい日本の『根本問題』～」を実施した。

漫画家、ミュージシャンの久住昌之氏によるトークショー「孤独のグルメ山陰篇」を挟み、最後に、次回第70回全広連沖縄大会の開催地紹介と、同大会組織委員会の坂名城泰山副会長から挨拶が述べられ、閉会となった。

2. 広告倫理等普及啓発（定款第4条第2項）

(1) 第15回（令和3年）全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞の贈呈

広告活動の発展のため、斬新な広告企画や大きな成果をあげた広告キャンペーン等を実施した会員社などを顕彰する第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞は、11協会16作品の応募の中から「にいがた 希望の花火」打ち上げプロジェクトを実施した(株)新潟日報社（新

潟広告協会応募)を、また、同賞選考委員会特別賞には「Think local.」を実施した(株)山陰中央新報社(山陰広告協会応募)を選出し、令和3年5月20日に開催した第69回全広連山陰大会の式典席上で贈呈した。

(2) 第15回(令和3年)全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞の贈呈

地域のクリエイティブ活動の発展・向上を図るため、各地広告協会が推薦する優秀なクリエイティブ作品の広告主企業を顕彰する第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞は、16協会推薦による33作品の応募の中から最優秀賞に山陰広告協会推薦の島根県による「早く会いたいけん、今は帰らんでいいけんね。早く会いたいけえ、今は帰らんでいいけえね。」(新聞広告)を、優秀賞に京都広告協会推薦のオリックス不動産(株)による『京都水族館 リニューアル広告「変態完了」』(新聞広告)を選出し、令和3年5月20日に開催した第69回全広連山陰大会の式典席上で贈呈した。

(3) 第9回(令和3年)全広連日本宣伝賞の贈呈

広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与した功績を顕彰する第9回全広連日本宣伝賞は、広告主を対象とする「松下賞」に井上眞氏(大塚製薬(株)代表取締役社長)を、媒体社・メディア関係会社及びイベント・コンテンツのプロデューサーを対象とする「正力賞」に増田宗昭氏(カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)代表取締役社長兼CEO)を、広告関連会社又は広告理論活動を対象とする「吉田賞」に藤重貞慶氏((公社)ACジャパン理事長、(公社)日本マーケティング協会会長、(公財)日本卓球協会会長、ライオン(株)特別顧問)を、クリエイターを対象とする「山名賞」に佐藤雅彦氏(東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター)を選出し、令和3年5月20日に開催した第69回全広連山陰大会で贈呈した。

なお、第9回全広連日本宣伝賞選考委員会にて受賞者を選考するにあたり、各賞の候補者について正会員である各地広告協会を通じ広く推薦を募ったほか、「山名賞」はその専門性に鑑み選考準備委員会で事前選考を専門家により行い佐藤雅彦氏を選出、第9回全広連日本宣伝賞選考委員会に上程し授賞を決定した。

3. 支援助成(定款第4条第3項)

(1) 助成金支給

広告に関する学問研究の発展のため日本広告学会の活動の費用を助成したほか、全広連助成金については各地域社会への貢献を目的とする公益目的事業の費用の一部として令和2年度中に8ブロック会議で支給額をまとめ、理事会の承認を得て、5協会に支給した。

(2) 各地広告協会主催セミナー・講演会への講師派遣

各地広告協会の活動を支援するため、各地からのセミナー・講演会等への講師要請に応え、6協会7事業に講師を手配、派遣した。

①徳島広告協会

令和3年度通常総会定期講演会

令和3年5月26日、於：徳島市・新聞放送会館（参加者41名）

演題 「これからの地域ですべきこと・できること ～コロナ禍およびアフターコロナを見据えた地域の価値創造と社会的意義に立脚した事業創造・コミュニケーション戦略とは～」

講師 国友千鶴氏（株オズマピーアール関西支社支社長）

久保田敦氏（株オズマピーアール関西支社コミュニケーション・ディレクター）

②愛媛広告協会

愛媛広告ゼミナール

令和3年11月5日、於：愛媛市・東京第一ホテル松山（参加者90名）

演題 「コロナ後の地域広告を考える」

講師 河西智彦氏（株博報堂クリエイティブディレクター）

演題 「地域目線で、ヒントを探る。」

講師 佐藤達郎氏（多摩美術大学教授、コミュニケーション・ラボ代表）

③徳島広告協会

令和3年度定期講演会

令和3年11月15日、於：徳島市・徳島新聞社会議室（参加者23名）／オンライン参加者16名

演題 「SDGsで自分を変える、未来が変わる」

講師 川廷昌弘氏（株博報堂DYホールディングスグループ広報・IR室CSR推進グループ担当部長）

④秋田広告協会

秋田広告セミナー2021

令和3年11月30日、於：秋田市・イヤタカ（参加者80名）

演題 「地域こそパーパス・ブランディングを！～秋田はクリエイティブでもっと活きる」

講師 田中淳一氏（株POPSクリエイティブ・ディレクター）

演題 「『パーパスで売る』地方創生だからこそできる通販・D2C戦略」

講師 挽地信孝氏（株ADKダイレクト代表取締役社長）

⑤静岡県広告協会

2021年度広告講座

令和4年1月21日、於：浜松市・アクトシティ浜松 研修文化センター（参加者23名）

演題 「隆盛する世界のeスポーツと勃興する日本の現状」

講師 浜村弘一氏（(一社)日本eスポーツ連合副会長）

⑥山形広告協会

山形広告セミナー

令和4年2月9日、オンライン（参加者80名）

演題 「何かあるやろ ～金鳥宣伝部の裏話～」

講師 北伸也氏（大日本除虫菊株取締役宣伝部長）

⑦愛知広告協会

第9回実践広告ワークショップ <※令和3年度助成金支給対象事業>

第1講座：令和4年2月19日・第2講座：令和4年3月26日、オンライン（参加者26名）

講師 伊藤司氏（株CBCテレビ取締役常務執行役員／報道・情報制作、編成担当）

須田和博氏（株博報堂ブランド・イノベーションデザイン局/UoCエグゼクティブ・クリエイティブディレクター／スタジオ代表）

土橋通仁氏（株電通中部支社グループクリエイティブディレクター／アートディレクター）

4. 連絡交流（定款第4条第4項）

(1) 関係官公庁への要望活動

全広連をはじめとする広告・報道関係8団体（全広連、日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本屋外広告業団体連合会）で情勢を静観し情報を共有している広告課税問題について、令和4年度税制においては広告に対し課税に向かう具体的な動きは出なかったため、課税に反対する要望活動は行わなかった。当面は8団体それぞれが引き続き情勢を静観し、変化が生じた際に連携をとって対応できる態勢を各団体が整えておくことになっている。

(2) 関係官公庁への協力活動

下記の諸官庁ならびに広告団体の事業に協力、後援を行った。

- ① 内閣府からの会員への周知依頼に協力
- ② 経済産業省からの各種調査及び会員への周知依頼に協力
- ③ 厚生労働省からの会員への周知依頼に協力
- ④ 国土交通省の「屋外広告物適正化旬間」に協力
- ⑤ 総務省の「体力づくり国民会議」運動に協力
- ⑥ 日本屋外広告業団体連合会の第48回「屋外広告の日」キャンペーンを後援
- ⑦ 日本サイン・デザイン協会の「第55回SDA賞」を後援

(3) 関係団体との協力、連絡及び交流

広告関係23団体と定期的に会合を開いて情報交換を行い、意思疎通及び交流を図った。また、例年全広連をはじめ広告関係28団体が共催している「広告界合同年賀会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催が中止となったが、その代わりとして「バーチャル年賀会」と称しスマートフォンを使用したAR鏡開きのコンテンツを年初にメールで共催28団体合同の賀詞とともに発信した。

(4) アジア太平洋広告祭

タイ・パタヤで例年3月に開催されているアジア太平洋広告祭（ADFEST）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地における2022年のフェスティバル開催が中止となったことから、本年度の全広連主催参加研修ツアーは中止した。ただし、ADFEST2022アワードについては、審査及び贈賞がオンラインによって行われることになったため、日本からの作品エントリーに役立つよう、英文で発表される応募要項等の和訳版を作成し全広連ウェブサイトに公開した。

また、例年同時期にタイ・パタヤでADFESTと併催されている若手クリエイター対象の広告コンペティションYoung Lotus Workshopについても2022年は開催中止となったため、全広連が日本代表チーム派遣のために実施している一連のプログラム（国内コンペ、選考会、及びPreADFEST）の開催を中止した。

(5) アジア広告会議

日本を代表し全広連が加盟しているアジア広告協会連盟（AFAA）の主催により、アジア主要都市において隔年で開催されているアジア広告会議（AdAsia）について、コロナ禍のためオンラインによる開催となった2021年12月3日～5日の第32回アジア広告会議マカオ大会（AdAsia2021）に参加、協力した。

5. 情報発信（定款第4条第5項）

(1) 機関誌「全広連」の発行

全広連活動の報告、各地広告協会活動の紹介、及び広告界の動向解説等を掲載した機関誌「全広連」の通巻1093号～1098号を隔月刊として奇数月の5日付で発行し、各地37広告協会の会員をはじめ関係団体、諸官庁、図書館、広告関係者や一般に向けて配布した。

(2) WEBサイト

WEBサイトを随時更新し、講座・シンポジウム・全国大会等の開催告知及び参加募集、当連盟概要、機関誌など当連盟の最新情報を公開したほか、正会員である加盟各地37広告協会の情報を掲載し、会員にとどまらず広く一般に向け発信した。

このほか、一般紙及び業界紙（誌）宛にニュースリリースを発信し、事業活動のPRに努めた。

6. 「全広連名鑑」の刊行（定款第4条第6項）

北は北海道から南は沖縄まで、全広連加盟37広告協会の会員名簿「全広連名鑑」の第46巻、令和3年版を刊行した。会員名簿のほか全広連関係資料、広告統計資料、広告関係の公共機関並びに関連団体の所在地などを例年どおり掲載した。

7. 総会・理事会・8ブロック会議・事務局長会議

(1) 総会

令和3年度の総会は、次のとおり2回（通常総会1回、臨時総会1回）開催し、いずれの議案も委任出席者を含め満場異議なく（決議の省略においては全正会員一致の同意により）承認した。

i) 第69回通常総会

日時 令和3年5月19日 午後3時～4時10分

場所 ホテル一畑 2階「平安の間」(島根県松江市千鳥町30)

正会員総数 37広告協会(定足数:19広告協会)

出席正会員数 36広告協会(正会員代表者出席:9広告協会、委任状出席:27広告協会)

出席理事 3名、出席監事 1名

議題 第1号 「総会運営規則」一部改正の内容報告の件

第2号 令和2年度事業報告の内容報告の件

第3号 令和2年度決算書類承認の件(第1号議案)

第4号 理事選任の件(第2号議案)

第5号 「定款」一部変更の件(第3号議案)

第6号 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件(第4号議案)

第7号 令和3年度事業計画及び収支予算の内容報告の件

第8号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件

第9号 第70回(令和4年度)全広連大会の概要報告の件

第10号 第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者報告の件

第11号 第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者報告の件

第12号 第9回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件

第13号 「全広連永年勤続表彰」贈呈の件

ii) 令和3年度第1回臨時総会(書面による全正会員からの同意に基づくみなし決議)

令和3年11月10日、理事長が正会員(各地37広告協会)全員に対して総会決議の目的事項である下記1議案について提案書を発し、12月9日までに正会員の全員から書面により同意する旨の意思表示を得たので、決議の省略の方法により当該提案を承認可決する旨の総会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

第1号議案 次期(令和4・5年度)全広連会費の件

(2) 理事会

令和3年度の理事会は次のとおり全てオンラインで5回開催し、いずれの議案も出席理事全員一致で異議なく承認した。

i) 令和3年度第1回理事会

日時 令和3年4月20日 午後4時~5時10分

場所 オンライン開催(出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加)

理事総数 13名(定足数:7名)

出席理事数 13名、出席監事数 2名

議題 決議事項

第1号議案 令和2年度事業報告及び附属明細書承認の件

第2号議案 令和2年度決算書類承認の件

第3号議案 令和3年度補正収支予算承認の件

第4号議案 理事選任候補者の件

第5号議案 「定款」一部変更の件

第6号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

第7号議案 第69回通常総会の招集及び付議議案の件
第8号議案 顧問選任の件
第9号議案 ブロック代表者選任の件
第10号議案 「総会運営規則」一部改正の件
第11号議案 「理事会運営規則」一部改正の件
第12号議案 第70回（令和4年）全広連大会概要の件
第13号議案 第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
第14号議案 第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者の件
第15号議案 「全広連永年勤続表彰」表彰者の件
報告事項

1. 職務執行状況の報告
2. 令和3年度第2回理事会（5月19日・松江市）開催の件

ii) 令和3年度第2回理事会

日時 令和3年5月19日 午後4時15分～4時20分
場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）
理事総数 13名（定足数：7名）
出席理事数 13名、出席監事数 2名
議題 決議事項
第1号議案 副理事長選定の件
第2号議案 筆頭執行理事選定の件

iii) 令和3年度第3回理事会

日時 令和3年8月24日 午後2時～2時15分
場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）
理事総数 13名（定足数：7名）
出席理事数 11名、出席監事数 1名
議題 決議事項
第1号議案 第69回全日本広告連盟山陰大会収支と全広連負担額の件
第2号議案 顧問選任の件
報告事項
次回理事会・令和3年度第4回理事会日時について

iv) 令和3年度第4回理事会

日時 令和3年11月4日 午後2時～2時35分
場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）
理事総数 13名（定足数：7名）
出席理事数 11名、出席監事数 1名
議題 決議事項
第1号議案 次期（令和4・5年度）全広連会費の件
第2号議案 令和3年度第1回臨時総会の招集及び付議議案の件
第3号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任の件

第4号議案 鈴木三郎助全広連地域広告大賞選考委員会有識者委員選任の件
報告事項

1. 職務執行状況の報告

v) 令和3年度第5回理事会

日時 令和4年3月14日 午後2時～2時50分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 11名、出席監事数 2名

議題 決議事項

第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件

第2号議案 令和4年度全広連助成金支給の件

第3号議案 令和4年度事業計画書承認の件

第4号議案 令和4年度収支予算書等承認の件

第5号議案 次期顧問選任の件

第6号議案 次期8ブロック代表者選任の件

第7号議案 鈴木三郎助全広連地域広告大賞選考委員会次期有識者委員選任の件

第8号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会次期委員選任の件

報告事項

(1)職務執行状況の報告

(2)次回全広連理事会（4月25日）の件

(3) 8ブロック会議

令和3年度の8ブロック会議は次のとおり全てオンラインで4回開催し、審議事項をいづれも代理出席者を含めた各ブロック代表者全員一致で異議なく了承した。

i) 第1回

日時 令和3年4月13日 午後2時～3時50分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. ブロック代表者交代の件

2. 令和2年度事業報告の件

3. 令和2年度決算の件

4. 令和3年度補正収支予算の件

5. 理事交代の件

6. 顧問交代の件

7. 「定款」一部変更の件

8. 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

9. 「総会運営規則」一部改正の件

10. 「理事会運営規則」一部改正の件

11. 第70回（令和4年）全広連大会開催概要の件

12. 第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件

13. 「全広連永年勤続表彰」表彰者の件
14. 令和3年度第1回理事会の件
15. 令和3年度第2回理事会の件
16. 全広連創立70周年（令和5年・2023年）記念事業の件
報告事項
17. 今後の「全広連名鑑」発行形態について
18. 第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会
19. 第69回通常総会
20. ADFEST2020・2021

ii) 第2回

日時 令和3年8月3日 午後2時～3時25分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 第69回全日本広告連盟山陰大会収支と全広連負担額の件
2. 顧問交代の件
3. 令和3年度第3回理事会の件
4. 全広連創立70周年（令和5年・2023年）記念事業の件

iii) 第3回

日時 令和3年10月5日 午後2時～3時30分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 令和4・5年度全広連新会費の件
 2. 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任候補者の件
 3. 鈴木三郎助全広連地域広告大賞選考委員会有識者委員の件
 4. 令和3年度第4回理事会の件
 5. 「全広連名鑑」の今後についての件
 6. 全広連創立70周年（令和5年・2023年）記念事業の件
各ブロックへの依頼事項
 7. 任期満了（令和4年5月18日）に伴う理事候補者選定依頼の件
 8. 任期満了（令和4年3月31日）に伴う顧問及び各ブロック代表者候補選定依頼の件
報告事項
- ① 第69回全日本広告連盟山陰大会
 - ② 第10回「全広連日本宣伝賞」候補者
 - ③ 第32回全広連夏期広告大学／第14回全広連秋のシンポジウム（令和3年度）
 - ④ 令和4年度税制・広告課税問題への対応
 - ⑤ 第32回アジア広告会議（AdAsia2021）マカオ大会

iv) 第4回

日時 令和4年3月2日 午後2時～3時25分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 「事務局業務委託契約書」一部改正の件
2. 令和4年度全広連助成金支給の件
3. 令和4年度事業計画案の件
4. 令和4年度収支予算案の件
5. 次期顧問候補者の件
6. 次期8ブロック代表候補者の件
7. 鈴木三郎助全広連地域広告大賞選考委員会 次期有識者委員候補者の件
8. 全広連日本宣伝賞選考委員会 次期委員候補者の件
9. 令和3年度第5回理事会開催の件
10. 全広連夏期広告大学・秋のシンポジウムの年度計画の件

報告事項

11. 第14回（令和3年度）全広連秋のシンポジウム
12. 第10回全広連日本宣伝賞受賞者
13. 国際関係活動
14. 令和3年度全広連事業活動記録
15. その他

(4) 全国事務局長会議

令和3年度の事務局長会議は、いずれもオンラインにて2回開催した。

i) 第115回全国事務局長会議

日時 令和3年4月20日 午後1時30分～3時

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

- 議事
1. 第69回全広連山陰大会の件
 2. 令和3年度第1回理事会承認事項の件
 3. 令和3年度事業計画及び収支予算
 4. 8ブロック会議報告
 5. 令和2年度理事会結果報告
 6. 第69回通常総会の件
 7. 第69回全広連大会開催概要の件
 8. 第71回以降の全広連大会開催地の件
 9. 全広連「賛助会員」の件
 10. 令和3年度全広連助成金申請の件
 11. 第9回全広連日本宣伝賞受賞者の件
 12. 第15回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」受賞者の件
 13. 第15回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」受賞者の件
 14. 令和2年度全広連秋のシンポジウムの件
 15. 令和3年度全広連夏期広告大学/全広連秋のシンポジウムの件
 16. 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の件
 17. 全広連名鑑今後の件

18. 全広連創立70周年（令和5年・2023年）記念事業の件
19. 各地広告協会への支援事業報告
20. 海外関係
21. 令和3年版全広連名鑑作成ご協力のお願い

ii) 第116回全国事務局長会議

日時 令和3年10月22日 午後1時30分～3時50分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

- 議事
1. 第69回全日本広告連盟山陰大会総括報告
 2. 第70回全日本広告連盟沖縄大会の概要説明
 3. 8ブロック会議開催報告
 4. 令和3年度理事会結果報告
 5. 次期（令和4・5年度）全広連新会費の件
 6. 令和3年度第1回臨時総会の件
 7. 第70回通常総会日程の件
 8. 全広連「賛助会員」の件
 9. 第72回（令和6年）以降の全広連大会開催地協会の件
 10. 第32回（令和3年度）全広連夏期広告大学開催概要の報告と第33回（令和4年度）開催協会立候補要請の件
 11. 第14回（令和3年度）全広連秋のシンポジウム開催概要の報告と第15回（令和4年度）開催協会立候補要請の件
 12. 全広連「助成金」の件
 13. 支援助成事業の実施報告の件
 14. 令和4年度税制・広告課税問題への対応の件
 15. 第10回「全広連日本宣伝賞」各賞候補者推薦の件
 16. 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の件
 17. 国際関係活動の件
 18. 今後の「全広連名鑑」についての件
 19. 全広連ウェブサイト掲載用・各地広告協会情報更新への協力のお願い

II. 組織状況

令和3年度 役員一覧

(敬称略・順不同) ※令和4年3月31日現在

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会理事長	東京・沖縄ブロック
副理事長	松尾 倫男	山陰広告協会会長	第69回大会開催地協会
	石嶺伝一郎	沖縄広告協会会長	第70回大会開催地協会
筆頭執行理事	田中 洋志	(公社)東京広告協会専務理事	東京・沖縄ブロック
執行理事	中井 良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック
理事	鹿又 久孝	仙台広告協会事務局長	北海道・東北ブロック
	片上 崇	(公社)東京広告協会理事	東京・沖縄ブロック
	西川 新	山梨広告協会専務理事	関東・甲信越ブロック
	田中正樹	(一社)愛知広告協会理事長	中部・東海・北陸ブロック
	井手 良昭	(公社)大阪広告協会専務理事	近畿ブロック
	橘 高知樹	広島広告協会	中国ブロック
	山中 総	徳島広告協会理事	四国ブロック
	西山 治宏	福岡広告協会理事長	九州ブロック
監事	阿部龍二郎	(公社)東京広告協会	
	石村 泰利	静岡県広告協会事務局長	

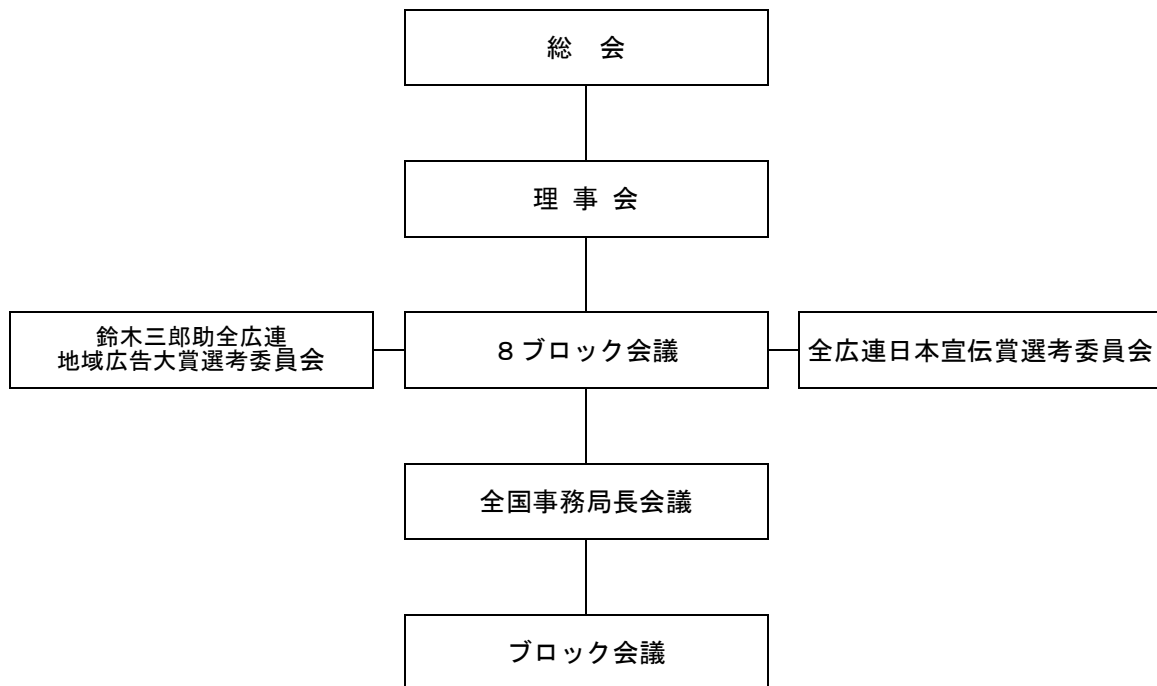
令和3年度 8ブロック代表者一覧

(敬称略・順不同) ※令和4年3月31日現在

■全広連8ブロック会議

議長	河口悦生	福岡広告協会事務局長	九州ブロック代表
副議長	中井良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック代表
	鹿又久孝	仙台広告協会事務局長	北海道・東北ブロック代表
	早乙女謙司郎	千葉広告協会事務局長	関東・甲信越ブロック代表
	嗟峨泰	(一社)愛知広告協会常務理事・事務局長	中部・東海・北陸ブロック代表
	粉生茂	京都広告協会事務局長	近畿ブロック代表
	竹下修司	広島広告協会事務局長	中国ブロック代表
	多田一成	徳島広告協会事務局長	四国ブロック代表
	田中洋志	(公社)全日本広告連盟筆頭執行理事	

公益社団法人全日本広告連盟 組織図



Ⅲ. 業務執行体制等

令和3年度は、「内部統制システム整備に関する基本方針」に基づき、法人業務の適正を確保するため「文書管理規程」の運用状況について監査を行った。

公益社団法人全日本広告連盟 内部統制システム整備に関する基本方針

平成26年11月17日 制定

平成27年11月11日 改正

- 1 理事・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制（一般法人法90条4項5号、同法施行規則14条4号）
 - (1) コンプライアンス体制の基礎として、倫理規程、公益通報者保護規程等の規程を定め、職員（事務局業務を委託している公益社団法人東京広告協会の職員を指す。以下同じ。）相互間の適切な監督体制を創設する。
 - (2) 理事が他の理事の法令・定款違反行為を発見した場合は、直ちに監事に報告するなどガバナンス体制を強化する。
 - (3) 職員の法令・定款違反行為については、公益社団法人東京広告協会に対してその就業規則に従って処分を行うことを求める。
 - (4) 監事は、監事監査規程に基づき、理事会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、理事の職務執行の監査を行う。
- 2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制（一般法人法施行規則14条1号）
 - (1) 理事は、社員総会、理事会その他重要な会議の議事録を、法令及び関係規程に従い作成し、適切に保存・管理する。
 - (2) 理事長及び業務執行理事は、法令に従い自己の職務の執行状況を理事会に報告する。
 - (3) 理事は、文書管理規程に従い、法人の事業運営及び業務執行に関わる重要な情報、決定事項、内部規程・規則等は適切に保存し、管理する。
 - (4) 理事及び監事は、いつでもこれらの情報を閲覧又は謄写することができる。
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制（一般法人法施行規則14条2号）
 - (1) リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。
 - (2) 不測の事態が発生した場合には、危機管理を所掌する組織として、理事長を本部長とする対策室を設置し、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制を整える。
- 4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条3号）

- (1) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例理事会を原則年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- (2) 理事会の決定に基づく業務執行については、諸規程において、それぞれの責任者及びその権限、執行手続について定める。
- (3) 理事は、必要な資源の配分の決定又は見直しを行い、効率的な運営を確保する。

5 監事の職務を補助すべき使用人に関する体制、当該使用人の理事からの独立性に関する事項及び監事の当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項（一般法人法施行規則14条5号、6号、7号）

- (1) 監事はその職務を補助すべき使用人を置くことを求めたときは、当法人は職員から、監事補助者を任命するものとする。
- (2) 当該職員は、職務執行に当たっては監事の指揮命令を受け、理事の指揮命令を受けない。
- (3) 当該職員の人事評価・異動・懲戒については当法人の監事の事前同意を得た上で、機関決定し、理事からの独立性を確保する。
- (4) 監事補助者は、業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

6 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項（一般法人法施行規則14条10号）

- (1) 監事の職務の執行について生ずる費用について、前払又は償還を求められた際には、必要な見積書又は証憑の提示を求め、会計処理規程に別に定める手続にしたがって処理することとする。その他の監事の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理についても、これに準じることとする。

7 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制、当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制及び監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条8号、9号、11号）

- (1) 理事及び使用人は当法人の業務又は業績に影響を与える重要な事項について監事にその都度報告する。前記にかかわらず、監事は、いつでも必要に応じて、理事及び使用人に対して報告を求めることができる。
- (2) 理事は、公益通報者保護規程を定め、その適切な運用を維持することにより、法令違反その他コンプライアンス上の問題について、監事への適切な報告体制を確保する。
- (3) 監事は、必要に応じて、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の業務執行に関する報告を受けることができる。
- (4) 監査を実効的に行うために、理事長との間で適宜に意見交換を行う。

（平成26年11月17日 理事会決議）

（平成27年11月11日 理事会決議）

附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載した。